

2020年度 入学試験問題

国語 B

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は50分間です。
3. 問題は□～四までです。
4. 解答はすべて解答用紙に書きなさい。
5. 解答用紙に受験番号、氏名を書きなさい。

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

紙の新聞が読まれなくなっていることは、みんなも聞いたことがあると思う。これは世界的な傾向けいこうと言ってもいい。ネットに押おされて、これまでジャーナリズムの中心にいた新聞が衰退すいしているのだ。こうした中でニューヨーク・タイムズはいち早く電子化に取り組み、成功をおさめてきたと言ってもいい。ところがトランプ大統領はこのニューヨーク・タイムズを名指しして「落ち目の新聞」とか「フェイクニュース」と批判し続けてきた。なぜならニューヨーク・タイムズは平気でウソを拡散するトランプ氏に対して、選挙戦の最中から厳しい姿勢をとり続けてきたからだ。

トランプ支持者たちが、大手メディアはウソばかりつく信用できない存在だと見なしていることは、前に話したよね。そればかりではない。「大手メディアを信頼らいしているか」という注¹世論調査の質問に対して、「信頼する」と答えた人は①三二%という結果もある。ニューヨーク・タイムズなどの大手メディアは、どうも旗色が悪いのだ。それなのに、②なぜ購読者数が過去最大の伸びのびを示したのだろう。

ニューヨーク・タイムズだけではない。調査報道を専門とする注²公益の「プロパブリカ」という報道機関への寄付もかつてないほど増えている。

「プロパブリカ」はとてもユニークな存在だ。もとはこれまでの大手メディアで調査報道が弱くなっていることへの危機感から生まれた。

調査報道とは地道な取材・調査によって、隠かくされた不正や問題を暴あばき出す手法で、手間暇ひまがかかることから商売の観点からみれば効率的とは言えない。さらにテレビでいえば、**A**視聴率ちやうりつがかせげるわけでもない。しかもメディアの大きな収入源は広告、つまり報道とてスポンサー

の影響えいきやうから完全に無縁えんではいられない。

それならば売り上げ（視聴率）もスポンサーも気にしないメディアをつくって、調査報道に集中しようとして始まったのが「プロパブリカ」なのだ。経営は資産家が運営する財団からの大口の寄付と、個人からの小口の寄付を集めることでやりくりしている。

発信の拠点きょはネット上に立ち上げた「プロパブリカ」のサイト。同時に調査報道の成果を、新聞やテレビといった大手メディアにも提供する戦略をとっている。たとえばある時はCBSニュースにも提供し、「プロパブリカ」とCBSニュースがほぼ同じタイミングで流す。CBSニュースからしたら、手間暇ひまかけずに調査報道の成果を得られるし、「プロパブリカ」からしたらメディアの影響力を利用することで、調査報道の成果をより多くの人に届けることができるのだ。

③ こうした手法でネットメディアとしては初めて、権威いある注³ピューリッツァー賞も受賞している。

（中略）

ニューヨーク・タイムズもプロパブリカも、伝統的なジャーナリズムの手法をとっている。一言で言えば、ファクト（事実）に基づもとづく報道だ。報じる内容が本当かどうか幾重いくえにも確認にんを重ね（ぼくらの業界ではウラをとると言う）、権力チェックを行う。世界を注⁴席卷せっけんしつつあるフェイクニュースとは④対極たいごくにあるやり方なのだ。

こうした伝統的な手法をとるメディアへの支持が広がっているのは、プロパブリカのトフェル社長の言うように、トランプ大統領への不安、ウソのニュースが広がることへの不安の裏返しなのだろう。

フェイクニュースを信じる、いやもつと言えば事実なんてどうでもいと考える人が増えている一方で、事実の重要性を再確認した人、事実

に基づかない政治が広がっていることに危機感を持つ人が、伝統的な手法をとるメディアに回帰している。つまり、フェイクニュースが幅をきかせ始めたことが、衰退しつつあると見られていた既存のメディアを復権させるといふ、思いもよらなかった現象が今起きているのだ。

(中略)

ニュースなんて興味ないという人にとっても、こうしたメディアが発信する情報は否が応でも情報源のひとつになるだろう。これから社会に出るにつれて日本で、あるいは世界で何が起きていくか、知っておく必要性も出てくるだろうし、知りたいと思うだろうから。

そこで⑤心に留めておいてほしいことがある。

メディアはどれも偏って見えるということだ。

フェイクニュースを意図的に振りまくメディアは論外としても、事実をもとに報じているメディアとて、そこにももの見方や分析を織り込めば、どうしても特定の立場に荷担しているように感じられるだろう。

もちろんテレビと新聞の違いはある。テレビは公共の電波をあく守るべきルールという法律に縛られているとか、いろいろ前提は異なるし、攻撃したりするなどあつてはならない。だからといって偏って見えることを恐れて、起きたことをただ伝えるだけになったとしたら、報道の役割を果たしているとは言えないのではないだろうか。

この問いをぼくはこれまで何度も心のなかで繰り返してきた。そうした中で一番しっくりきた言葉は、社会学者である小熊英二さんが二〇一六年二月に朝日新聞の「あすを探る」というコーナーで話していたものだ。ものすごく大事な指摘だと思うので、ぜひ紹介したい。

もしあなたが、体調が悪くて医者にかかったとする。それなのに医師

が「発疹が出てますね」「熱が三九度ありますね」としか言わなかったらどう思うだろうか。

たぶん医師にこう言いたくなるはずだ。「要するに」

B「？」

小熊さんは報道の仕事も同じだと言う。「政府はこう述べています」「野党はこう主張しています」といった報道姿勢は、無難ではあるけれど、役割放棄と言えるのではないか。報道機関の人間は幅広く情報を集め、それを理解しやすく提示するための専門的な訓練を受けている。だから情報をただ垂れ流すだけでなく、「何が起きているかを診断し、放置すれば悪化することを警告するのは、社会に必要な役割であり、報道の「公正」なあり方である」。

報道関係者は医師のような専門職ではない、だから医師とは違うと考える人もいるだろう。でも小熊さんは指摘する。たとえば八百屋は野菜を、電気屋は家電製品を扱う専門職、社会はそれぞれがそれぞれの専門職にふさわしい仕事をするのでなりたっている。報道機関が情報をただ流すだけで、専門職としての役割を果たしていると言えるだろうか、と。

ただ流すだけでなく、問題点を指摘し、これを放置すれば社会に悪い影響を与えるのではないかといった分析や指摘をすると、視聴者や読者の中から偏った見方だという声があがるだろう。C報道の人間も時に的外れな指摘をしてしまったりすることもある。

「しかし」と小熊さんは言う。「現代の視聴者や読者は、特定の報道機関の言うことを何でも信じるほど愚かではない。疑問を感じれば、医者の場合と同じく、セカンドオピニオンを求めて他の機関の報道に接するだろう。それを判断するのは国民であつて、政府ではない。そうした意味で、報道の多様性を保障することは、何よりも重要である」

ときどき言われることがある。あなたが所属するテレビ局は、番組によって言っていることが違うけど、おかしいのではないかと。その言葉には、同じテレビ局なんだから見方を統一すべきだという思いが込められているように思う。でもぼくはそれこそが最後の砦ではないかと思う。同じテレビ局だからといってすべての番組がひとつの方向に流れるとすると、それこそ危うい。

(一部内容を省略し、表記を改めました)

【松原耕二『本質をつかむ聞く力』】

注1 世論：世間一般の人の考え。

注2 公益：社会一般の利益。

注3 ピューリッツ賞：アメリカ合衆国における新聞、雑誌、オンライン上の報道、文学、作曲の功績に対して授与される賞。

注4 席卷：激しい勢いで勢力範囲を広げること。

注5 負担：力添えすること。

問一 A ・ C に当てはまる言葉を、次のア～エからそれぞれ選

びなさい。

A ア 今さら イ 少しも

ウ 必ずしも エ あながち

C ア ただし イ もちろん

ウ たとえば エ あるいは

問二 —— 線① 「三二%という結果」とありますが、どのようなことを表していますか。最も適当なものを、次のア～エから選びなさい。

A 大手メディアを信頼する世論が少ないということ。

イ 大手メディアを信頼する世論が多いということ。

ウ フェイクニュースを信頼する世論が少ないということ。

エ フェイクニュースを信頼する世論が多いということ。

問三 —— 線② 「なぜ購読者数が過去最大の伸びを示したのだろう」とありますが、その理由を説明した次の文の 1 ・ 2 に当て

はまる言葉を、本文中からそれぞれ指定の字数でぬき出しなさい。

* 1 (十二字) 人が伝統的な手法をとるメディアに 2 (二字) しているから。

問四 —— 線③ 「こうした手法」とありますが、その説明として当てはまらないものを、次のア～エから選びなさい。

A 調査成果を大手メディアに提供する手法。

イ スポンサーの影響から完全に無縁な手法。

ウ 手間暇にかかる地道な調査に集中する手法。

エ 電子化によって効率的に事実を伝える手法。

問五 —— 線④ 「対極にあるやり方」とありますが、フェイクニュースはどのようなやり方を取っていると考えられますか。最も適当なものを、次のア～エから選びなさい。

A スポンサーの資金源に頼らず視聴率も気にしないやり方。

イ 特定の立場を根拠なく批判したり攻撃したりするやり方。

ウ 報じる内容が事実であるかどうかを徹底的に調べるやり方。

エ 独自の調査法で大手メディアの影響力を利用しないやり方。

問六 ————線⑤「心に留めておいてほしいこと」とありますが、それはどのようなことですか。六十字程度で説明しなさい。

問七 Bに当てはまる内容を二十字程度で答えなさい。

問八 本文の内容として最も適当なものを、次のア～エから選びなさい。

ア 同じ報道機関であれば、分析や問題点の指摘も統一すべきである。

イ 大手メディアは電子化に取り組んで購読者数が過去最大になった。

ウ 調査報道に集中するプロパブリカの大きな収入源は広告である。

エ ニューヨークタイムズはファクト（事実）に基づく報道を行う。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

転校生で内気な中学生の「私（肥後知恵）」は、職場体験のためにクラスメイトたちと県立自然史博物館を訪れた。「哺乳類」を担当することになった「私」は、学芸員の久遠さんと共に耕作放棄地でカピバラを放牧し、それを見に来た園児と交流した後、博物館へお弁当を取りに戻るようになった。

四頭のカピバラをフェンスにつなぐと、私と久遠さんはトラックに乗った。

車が出発してしばらくすると、隣から「くすつ」と笑い声がきこえた。

「それにしても、さつきはすごいブーイングだったわね」

「ですね」

カピバラに名前がないとわかった瞬間の園児たちの反応といったらすごかった。

「博物館という性質上、日頃、わたしたち学芸員が尊重しているのは『個』よりも『種』なんです。たとえば、今回のカピバラでいったら、ネズミ目テンジクネズミ科カピバラ属という種を見て仕事をしている。そこに名前が付くと、種よりも個が強調される。名前が付いた瞬間に種は個になるんです」

「……………」

声が出ないのではなく、久遠さんがいわんとしている意味がわからなかった。

「今日連れてきた四頭のカピバラも名前が付いていない時点では、ネズミ目テンジクネズミ科カピバラ属という種でしかないけれど、仮にわた

しが『ひい』『ふう』『みい』『よお』と名付けたとすると、その瞬間から、あの子は『ひい』で、この子は『ふう』で、そっちは『みい』で、あつちらは『よお』になる。肥後さんだってそうでしょう？ だとしたら、名前とはいったいなんでしょう？」

久遠さんはクイズっぽく語尾を上げるようにしてそうきくと、私をチラッと横目で見た。

名前とはいったいなんでしょう……。

さて、なんでしょうか？

久遠さんがウインカーを出してトラックが右折すると、ぐうんと体が強く引っぱられた。①ぐうんと引っぱられて、私の気持ちまでどこか遠くへ行ってしまいそうになった。

あれこれ考えているうちに、車は博物館の地下駐車場に到着した。

「まっすぐ行った突き当たりにはドアがあります。鍵はかかかっていないので、そこから中に入ってください。鈴井さんという職員が仕事をしているはず。ボランティア控室までの行き方は彼にきいてください」

「はい」

ドアはすぐに見つかった。なぜか、そのわきに骨を並べたバットが置いてある。

戸惑いながら重たいドアを開けると、目の前には理科実験室のような空間が広がっていた。てっきり、職員室のような部屋のつもりでいたから

X。

「ちよつと！ びっくりさせないでよね、もうっ」

驚いて声のほうをふり向くと、クラスメイトが私をにらみ付けていた。

「……ごめんなさい」

直前まで深いことを考えていたはずが、クラスメイトに遭遇した瞬間、

私の思考にも言動にも鍵がかかったようになってしまった。体も、口まわりの筋肉も萎縮して、思わず、つかんでいたドアノブを放しそうになる。

「ちよつと、ちよつと。入るなら入りなよ」

クラスメイトにそういわれて、私は恐る恐るその部屋に足を踏み入れた。

なんだか風変わりな空間だ。

お弁当を取りにきたと告げると、なぜかその子もいっしょにボランティア控室まで行くといい出した。

途中、②私は尋問でも受けているみたいな気分で、哺乳類担当であることや屋外でお昼を食べる理由なんかを説明した。

その子はボランティア控室には入らずに廊下で待っているという。

ほっと胸をなで下ろして、ドアを開けると、ソファアのあたりで、クラスの男子がおじいさんとおしゃべりしているところだった。

「この中のどれかがそうだから、よおく観察してみな」

たしか、みんなから「博士」と呼ばれている子だ。そんな博士をとり囲むように、おじいさんとおばさんが何人かいる。

と、そのとき、博士の隣に座っていた男の人が私に気づいた。

「こんにちは。フライドチキンはいかがですか？」

「はい？」

思ってもみない声かけに、私はまじまじとその人を見つめ返してしまつた。

「職場体験に来ている中学生ですよ？ 私はここで働いている鈴井といます。訳あってフライドチキンの骨集めをしています。よければ、いっしょにどうですか」

その人はフライドチキンの箱を掲げた。

「あ、あの、駐車場に、久遠さんを待たせていて……お昼は耕作放棄地、で、食べるので……」

「ああ、哺乳類の子でしたか。だったら、はい、これをどうぞ。久遠さんといっしょに食べてください」

鈴井さんは未使用のポリ袋にいくつかフライドチキンを入れてくれた。

なんとなく博士をうかがうと、許可でも出してみたいにうなずかれた。

「あの、ありがとうございます」

冷蔵庫からお弁当を出してボランティア控室から出ようとしたところで、今度はおじいさんに呼び止められた。

「待って、待って。お嬢ちゃんもせっかくだから、ほら、これを見てくださいなさい」

「えつと……」

断る勇気のない私は、おじいさんに手招きされるがままソファのあたりへ移動した。

なんだろう、これ？

おじいさんの手に載っていたのは、瓦礫のような石だった。

「よくよく見てみな。この中のどれかにシダ植物の化石が含まれているからさ」

シダ植物ということは……。

「これ、ですよね？」

私は、中でも小さな断片をつまみ上げた。片すみに、白いチョークで描いたような微かな模様が見て取れる。

「おー、早いねえ！ 正解。それがシダ植物の化石ってわけ」

「すごいな、肥後さん。ぼくはちっともわからなかったよ。もしかして、これまでに化石探しとかしたことがあるの？」

「はじめて、だけど……」

化石を見つけたことよりも、いきなり名前と呼ばれたことにびっくりした。まさか、私の名前を覚えていた子がクラスにいたなんて。

反射的に名札を見ると、几帳面な字で「瀬川学」と書いてあった。

不機嫌そうに私を見ていたあの子はなんていう名前だろうと思ったのは、そのときだ。そういえば、さつき、久遠さんは、名前が付いた瞬間に種は個になると話していた。

「あの、そろそろ私……」

石を返した拍子に、もうひとつ、別の破片にも規則的な模様が刻まれていることに気がついた。

「もしかして、これも？」

「どれどれ？ おつ、本当だ。ねえ、鈴井さん。これも化石だよねえ？」

「たしかに、シダ植物の葉脈のように見えますね」

「どれどれ？」

おばさんたちも顔を寄せてくる。

「すごいよ、肥後さん！ こんなに短時間でふたつも化石を見つけるなんて、ひよつとして化石探しの才能があるんじゃないの？」

③ 瀬川くんに誉められて、私の顔は熱くなった。

「きつと、お嬢ちゃんは筋がいいんだな。化石が入っているかもしれないトレー、ここに置いておくからさ、あとでじっくり探してみなさいよ。

これをきつかけに、将来は古生物学者になるかもしれないもんなあ、鈴井さん」

「そうですね。是非、チャレンジしてみてください。こういうものは四

つ葉のクローバー探しといっしょで、見つけられる人には案外簡単に見つけられるものなんですよ」

これ、そんなにすごいことなのかなあ？

「……あの、やってみます。ありがとうございます」

私はお札をいうと、化石探しでにぎわっているボランテニア控室をあとにした。

ひよっとすると、あの子はすでに地下室に戻っているかもしれない。

そう思いながら廊下に出ただけけれど、意外にも彼女はまだそこにいた。

「遅いよ！」

その子は私の顔を見るなりムツとした。もしかすると、私を目にするだけで機嫌が悪くなるのかもしれない。

仕方なくいっしょに階段を下りていく途中、その子が別の子から「円佳」と呼ばれていることを思い出した。

苗字はなんだっけ？ 名札を見れば一発なんだけどなあ。

そう思った直後、「飯田」という名前が降ってきた。

そうだ、飯田だ。飯田円佳！

勇気をふりしぼって名前で呼ぶと、^④飯田さんは驚いた顔で私をふり返った。それから、私のジャージが汚れていることを指摘すると、なぜか着替えを貸してあげるといい出した。

ジャージを着替えると、今度はニワトリの骨格を復元するという今日の仕事についてもおしえてくれた。

「わあ、すごいね。面白そう」

私は図工や美術が大好きだ。

「普通、フライドチキンの骨を見ただけで、それが右半身か左半身の骨

かなんてわからないでしょう？ でも、鈴井先生にはわかるの。ここにあるトレーには左半身の骨が多いんだって。だから、追加でフライドチキンを買って右半身のパーツ集めをしてみたい」

「だから、さっき、私にもフライドチキンをくれたんだ」

思いきって本音で話したのがよかったのか、そのあとは今までにないほどスムーズに会話がつついた。

飯田さんが鈴井さんの話をしていたときだ、壁際のラックに目覚まし時計を見つけた。

いつけない！ 久遠さんの存在をすっかり忘れてた。

私は大急ぎで大型標本作成室から飛びだした。

大きく息を吸って、勢いよく吐きだす。

結局、最後まで飯田さんは私を名前で呼んでくれなかった。たぶん、いや絶対に、飯田さんは私の名前を知らないんだと思う。私だって、さっきまで飯田さんを「クラスの女子」としか認識していなかったくらいなもの。

「^⑤引き分け、かな」

ぼつりとつぶやいた声が地下駐車場に反響する。

「遅くなってごめんなさい！」

助手席に飛び乗ると、久遠さんは笑顔で迎えてくれた。

「それでは、行きましょうか」

ゆつくりトラックが発券する。バックミラーに映る博物館が徐々に小さくなっていく。

お弁当を食べたら、午後はネズミ目テングネズミ科カピバラ属である、あの四頭のカピバラに名前が付く。いよいよ種から個になるのだ。

その前に、あの一頭がなぜ苛められているのか久遠さんにきいてみよう。

それから、それから……。

私には、まだ話していいこと、話さなくちゃいけないこと、ききたいことがたくさんあるような気がした。(中略)

「あの、久遠さん」

⑥ 私ははじめて意識して、久遠さんを名前で呼んだ。

「なんでしょう？」

「あの、久遠さんの仕事って？」

「わたしは哺乳類の学芸員です。ただし、最近けんは兼任している企画普及課ふききゆうのほうが忙いそがしかったりします。簡単に説明すると、博物館が持っている資料や知識を博物館以外の場でいかすことができないか模索さくする仕事です。本当はもつとフィールドワークがやりたいんですけど、なかなか時間が取れなくてね」

私は久遠さんの話をききながら、フロントガラスの向こうへ目を向けた。

いつのまにか太陽が空のてっぺんを折り返している。

⑦ そのことを、今回は少し残念に思った。

(一部内容を省略しました)

【榎崎茜『ヴンダーカンマー ここは魅惑みわくの博物館』】

問一 —— 線①「ぐうんと引っぱられて、私の気持ちまでどこか遠く

へ行ってしまいそうになった」とありますが、ここでの「私」についての説明として最も適当なものを、次のア～エから選あびなさい。

ア 目の前の現実を忘れるために、久遠さんから与あたえられた「名前とは」という問題について熱心に考えている。

イ 普段あまり意識しないような難しい問題に混乱しつつ、何とか答えを出さねばならないと必死になっている。

ウ 久遠さんの問いにとっても答えられそうにないので、その問題にとられすぎないよう意識を他へ向けている。

エ 「名前」についての根本的な問いについて深く考え始めたことで、目の前の物事から意識が離はなれている。

問二 X に入る言葉として最も適当なものを、次のア～エから選あびなさい。

ア 眉まゆをひそめた

イ 面食くらった

ウ 舌を巻いた

エ 気が引けた

問三 —— 線②「私は尋問でも受けているみたいな気分です説明した」とありますが、これとは対照的な会話の様子が描えがかれている一文を本文中からぬき出し、最初の五字を答えなさい。

問四 —— 線③「瀬川くんに誉められて、私の顔は熱くなった」とありますが、その理由として最も適当なものを、次のア～エから選あびなさい。

ア 普段注目されることに慣れていないため、周囲の視線を集めることを恥はずかしく思ったから。

イ 思いがけず今までほとんど話したことの無い男子生徒から誉められたので、緊張してしまったから。

ウ 自分のことを「肥後さん」と覚えており、意外な能力に気づいてくれたことがうれしかったから。

エ 自分では大したことではないと思ったことを過大に評価され、いたたまれなく思ったから。

問五 —— 線④「飯田さんは驚いた顔で私をふり返った」とありますが、飯田さんが驚いた理由を四十字以内で説明しなさい。

問六 —— 線⑤「引き分け、かな」とありますが、「私」がこのように発言した理由として最も適当なものを、次のア～エから選びなさい。

ア 飯田さんがジャージを貸してうち解けようと努力していることは理解しているが、自分も苦手だった飯田さんとスムーズに話せるよう頑張ったと自負しているから。

イ 飯田さんの名前を呼んでくれないよそよそしい態度をさびしく思ったが、自分もきちんと自己紹介をしたわけではないので仕方ないと納得しようとしているから。

ウ 飯田さんの自分への接し方にまだ距離があるように感じられる点は残念だが、自分も今までは飯田さんに同様の接し方をしていたと思いついたから。

エ 飯田さんは骨格の復元という仕事で博物館に貢献できている点やうらやましく思ったが、自分としても化石探してこれから貢献できる可能性に気づいたから。

問七 —— 線⑥「私ははじめて意識して、久遠さんを名前で呼んだ」とありますが、ここでの「私」について説明した次の文の

2 に当てはまる言葉を、本文中からそれぞれ指定の字数でぬき

出しなさい。

* 職場体験での人々との交流を通して、

ことを理解し始めている「私」は、名前を呼ぶことで、博物館で働く

「2 (三字)」に対してではなく、「久遠さん」という人物に対して話しかけているのだと意識している。

問八 —— 線⑦「そのことを、今回は少し残念に思った」とありますが、残念に思った理由を五十字以内で説明しなさい。

問九 本文の内容についての説明として最も適当なものを、次のア～エから選びなさい。

ア 「私」の中で瀬川くんに対する認識が次第に変わっていく過程で、その呼称も「クラスの男子」から「博士」、「瀬川くん」へと変化している。

イ 久遠さんは、用意しておいた答えに「私」が自分でしたり着けるように、問いを発した後にヒントとなる言葉を与えて「私」の変化を見守った。

ウ 控室のおじいさんやおばさん、鈴井さんといった個性的な人たちが互いに親交を深めていく様子に触れたことが、「私」に積極性をもたらした。

エ 美術や図工などの創作が大好きな「私」は、瀬川くんの化石探しや飯田さんが担当する骨格復元も含めて博物館の仕事に魅力を感じている。

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ある文化が他の文化と出会うことで、新しいものが生まれます。

たとえばあんぱんです。西洋風のパンは、明治時代に日本で本格的につくられるようになりましたが、はじめは日本人に好まれませんでした。そこでパンを製造販売していた木村安兵衛は、日本人の A パンをつくり出すために様々な工夫を凝らしました。 B な和菓子に使われていた米こうじでパン生地を発酵させたり、まんじゅうの小豆あんを生地で包んだりして、一八七四年にあんぱんを売り出し大人気になりました。

これは西洋と日本の食文化が出会って新たな食品が生まれた例です。

また、スマートフォンの例もあります。それ以前の携帯電話にはキーボードが付きものでしたが、二〇〇七年に発売されたアップル社の iPhone は、一枚のガラス上でほとんどすべての ソウサが可能になりました。高い機能性と、シンプルで美しいデザインとが爆発的な人気を呼び、スマートフォンの世界的な普及につながりました。

アップル社の創業者スティーブ・ジョブズは、会社の基本理念を「集中とシンプルさ」と定義し、それが製品として結実したのが iPhone です。ジョブズは、若い時に仏教のなかの禅宗、特に道元の教えに大きな影響を受けています。道元は、座禅を行うことがそのまま悟りであるというシンプルな教えを説きました。道元が困難で様々な方法の修行を座禅に集約したように、ジョブズは多様な機能を一枚のガラス上に集約しました。つまり B な東洋思想と、現代アメリカの最新テクノロジーとの出会いが、スマートフォンを生み出したのです。

このように、異なる文化との出会いは新たな創造の 源です。異文化と出会う機会が増している現在、私たちはそこから何かを積極的に創り出そうとする姿勢をもつことが大切です。

問一 ……線 a のカタカナを漢字に直し、b の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

問二 A には「□□に□□」という言葉が入ります。当てはまる言葉を自分で考えて答えなさい。(□には、ひらがな一字が入ります)

問三 B に共通して当てはまる言葉を、次のア～エから選びなさい。

- ア 保守的 イ 一般的 ウ 伝統的 エ 基本的

問四 ……線「シンプル」と反対の意味になる漢字二字の語を、自分で考えて答えなさい。

問五 本文の論理展開についての説明として最も適当なものを、次のア～エから選びなさい。

ア 二つの対立する主題を示し具体例を挙げて説明したうえで、筆者の立場の主張を結論として述べている。

イ 二つの対立する主題を示し具体例を挙げて説明したうえで、対立を解決する方法を結論として述べている。

ウ 一つの主題を示し具体例を挙げて説明したうえで、その問題の解決方法を結論として述べている。

エ 一つの主題を示していくつかの具体例を挙げて説明したうえで、筆者の主張を結論として述べている。

問六 ……線「ある文化が新しいものが生まれます」とありますが、そのようにして「新しいもの」が生み出された例を、自分で考えてまとめなさい。その際に、次の(1)・(2)の条件をすべて満たして答えなさい。

(1) 食文化以外の分野から、具体的な例を挙げなさい。

(2) ここで「生まれたもの」は、今までの歴史の中で生み出されたものでも、未来に生み出されるものでも、どちらでも可とします。

四 次の各問いに答えなさい。

問一 次の①～⑤について、下の（ ）の意味になる敬語をそれぞれ答えなさい。（□には、ひらがな一字が入ります）

- ① 先生の□□□□□□通りです。（言う）
- ② 明日ご自宅に□□□□□□でもよろしいですか。（行く）
- ③ 冷めないうちに□□□□□□して下さい。（食べる）
- ④ 母もお元気でと□□□□□□□□□□。（言っていた）
- ⑤ どうぞお気をつけて□□□□□□□□□□して下さい。（来る）

問二 次の①～⑤の熟語と同様の意味または反対の意味のものを後の語

群からそれぞれ選び、漢字に直して答えなさい。

- ① 細心
- ② 利益
- ③ 冷静
- ④ 天性
- ⑤ 便利

【語群】

こうふん	ろうせい	むこう	そんがい	ししつ
きょうきゆう	すいそく	ちようほう	めんみつ	どうき